

ごあいさつ



昨年7月に前任の北城格太郎氏（日本アイ・ビー・エム株式会社相談役）より東京YMCA賛助会会長を引き継ぎました。私は少年期にYMCAの長期少年キャンプ「野尻学荘」に参加しましたが、人生の早い時期にこのキャンプに出会えたことがその後の歩みに大きく影響したと強く感じており、多少なりともYMCAの人を育てる働きに貢献することができればとの思いから、お引き受けした次第です。

今、生活環境や家族の在り方が多様化し、子ども達も複雑でストレスの多い生活にさらされています。本来子どもたちの成長していく力は限りないものでありますが、その力が存分に発揮されるには、一人ひとりの存在が大切にされ、励まされ、チャレンジしていく経験が不可欠と思います。YMCAのキャンプをはじめとする諸プログラムは、訓練された指導者やボランティアリーダーにより良く練られたもので、子ども達のはじける生命力を輝かせる魅力にあふれています。明日を担う子ども達の未来を考える時、YMCAは今後ますます必要とされる団体であると確信し、一層時代に即した活動を力強く推進していくことを期待するところであります。

私たち企業も、次世代を育てる社会的責任を自覚し、それぞれの専門分野を生かしながら力を合わせていきたいものです。賛助会員の皆様におかれましては、引き続き東京YMCAをご支援いただくことをお願い申し上げます。

東京YMCA 賛助会会長
野村ホールディングス株式会社 名誉顧問

氏家 純一

賛助会員の皆様には、平素より東京YMCAの諸活動に格別なるご理解とご支援を賜り、心より感謝を申し上げます。多くの皆様に温かなお励ましをいただき、社会で必要とされる働きを進め、お陰様でこの一年も実り多き活動を展開することができました。

加えて、4月に発生した熊本大地震直後より、全国YMCAのネットワークを生かした復興支援活動を展開しておりますが、多くの皆様から物心両面にわたるご支援をいただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。

熊本YMCAが運営する2つの避難所（益城町総合体育館と御船町スポーツセンター）へのスタッフ派遣、専門学校の学生たちによる現地ボランティア活動、都内での街頭募金やチャリティーコンサートなど、全力を挙げて支援活動を進めておりますので、今後もお励ましをいただければ幸いです。

変化の激しい時代ですが、力を尽くして社会の課題に取り組んでまいります。賛助会員の皆様のご協力に感謝し、引き続きのご指導とご支援をお願い申し上げます。

公益財団法人東京YMCA代表理事
総主事

廣田光司



賛助会役員



会 長	氏家 純一	野村ホールディングス株式会社 名誉顧問
名誉会長	橋本 徹	株式会社日本政策投資銀行 相談役
	北城 悟太郎	経済同友会 終身幹事・日本アイ・ビー・エム株式会社 相談役
理 事	山本 忠人	富士ゼロックス株式会社 代表取締役会長
理 事	牛尾 治朗	ウシオ電機株式会社 代表取締役会長
理 事	ロバートL・ノディン	A I U損害保険株式会社 日本における代表者 CEO
理 事	茂木 友三郎	キッコーマン株式会社 取締役 名誉会長 取締役会議長
理 事	大枝 宏之	株式会社日清製粉グループ本社 取締役社長
理 事	大谷 和彦	株式会社ニューオータニ 代表取締役社長
理 事	五十嵐 素一	株式会社白洋舎 代表取締役社長
理 事	廣田 康人	三菱商事株式会社 代表取締役常務執行役員
理 事	飯島 延浩	山崎製パン株式会社 代表取締役社長

歴代賛助会会長

初 代	安川 第五郎	(元日本原子力発電 会長)
第2代	田實 涉	(元三菱銀行)
第3代	駒井 健一郎	(元日立製作所)
第4代	小山 五郎	(元三井銀行)
第5代	佐波 正一	(元株式会社東芝 特別顧問)
第6代	橋本 徹	(株式会社日本政策投資銀行相談役)
第7代	北城 悟太郎	(経済同友会 終身幹事・日本アイ・ビー・エム株式会社 相談役)
第8代	氏家 純一	(野村ホールディングス株式会社 名誉顧問)

2016年度 表彰賛助会員

継続 45年	株式会社ホテルオークラ東京 三菱商事株式会社 株式会社ニュー・オータニ
継続 40年	廣瀬ビルディング株式会社
継続 35年	水戸工業株式会社
継続 25年	フットマーク株式会社 富士ゼロックス株式会社
継続 20年	学校法人桜美林学園 森トラスト・ホテルズ&リゾート株式会社
継続 10年	デュプロ株式会社
継続 5年	上田八木短資株式会社 株式会社レクトン 一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション
新入会員	株式会社リクラブ 株式会社宿屋塾 株式会社アークコミュニケーションズ バトンプロダクツ株式会社



会費・ご寄付によるご支援

2015年度も東京YMCAの諸活動にご支援とお励ましをいただき、心より感謝申し上げます。

● 個人会費・賛助会費 (2015年度個人会費 ¥12,600,754 賛助会費 ¥9,750,000)

YMCAの使命・趣旨にご賛同いただいた個人、企業、団体に、会費によるご支援をいただいております。以下の活動を中心に、東京YMCAの公益活動に用いました。

障がい児支援 知的障がい ADHD児他	不登校児支援 Liby (居場所活動)	ユースボランティア育成 子ども達のキャンプリーダー他
国際協力活動 バングラデシュ教育支援他	災害復興支援 東日本・熊本大地震 他	その他の公益活動 地域支援活動

● フレンドシップファンド (2015年度募金額 ¥888,631 支援実績 11名)

経済的に困難なご家庭の子どもや養護施設の子どもたちに、キャンプなどのYMCAの活動参加費を援助し、心身の豊かな成長に繋がるかけがえのない体験を提供することができました。

● 国際協力募金 (2015年度募金額 ¥2,896,408)

バングラデシュの働く子ども達への奨学金など、アジアの子ども達の教育支援をはじめ、世界YMCAのネットワークを生かした国際協力活動、留学生支援、青少年育成事業に用いました。

● ネパール地震緊急支援募金 (2015年度募金額 ¥1,947,831 *全国YMCA¥16,679,880)

2015年4月25日にネパールで大地震があり、全国YMCAとともにネパールYMCAによる復興支援活動に協力し、また家族が震災の影響を受けたネパール人留学生を支援しました。

● 東日本大震災復興支援募金 (2015年度募金額 ¥11,152,486)

東日本大震災と原発事故によって被災した石巻地域、及び福島の子どもを支援するため、ワークキャンプや仮設住宅高齢者支援、子どもプログラムなど、多様なボランティア活動を行いました。

● 熊本大地震緊急支援募金 (発生～2016年6月末現在募金額 ¥9,387,497)

2016年4月14日に熊本でマグニチュード7.3を含む連続地震がおき、直後から熊本YMCAが運営する2つの避難所にスタッフを派遣し、全国YMCAが協力して支援活動を行っています。

● インターナショナル・チャリティーラン (2015年度支援額 ¥6,462,257)

障がい児支援を目的とした駅伝大会で、29回目となった2015年度は65チーム、ボランティアや応援を含め約1,800名が参加しました。益金は29の障がい児を支援するプログラムのために用いました。



● 遺贈による寄付制度

遺言書により、東京YMCAに財産の一部を寄付する制度で、提携している信託銀行が、法に則り遺言書作成、保管、実現を手伝います。